

豊西中だより

1月号

吹田市立豊津西中学校
令和8（2026）年1月8日



『1年の計は元旦にあり』



校長 森田 直樹

あけましておめでとうございます。令和8年の幕が開きました。今年は2月にイタリアのミラノとコルティナで冬季オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。今まで努力を積み重ねてきた各アスリートの活躍に注目したいものです。

今年は十二支でいえば「午」年です。「午」は古くから人々の暮らしを支えてきた馬を表し、移動や農耕、戦に不可欠な存在でした。「午」の字は、餅をつく道具の動きに由来し、交差や転換を意味しているとのことです。更に、「飛躍」「前進」の象徴とされ、成長や成功を願うのに最適な年とされていると言われ、生徒たちの、若い力が「飛躍」「前進」する年になって欲しいものです。

さて、今日から3学期が始まります。3学期は1学期、2学期に比べ期間が短く、日々大切に過ごさないと「あっ」と言う間に終わってしまいます。古来、年始の3ヶ月が早く過ぎ去るように感じる事を「1月は『行く』」「2月は『逃げる』」「3月は『去る』」と言われていました。実際3学期の授業のある日数は、1年生49日、2年生50日、3年生44日の予定です。この間、3年生は私学や公立高校の入学試験や卒業式があり、中学校生活最後の3カ月となります。残り少ない日々を、仲間と一緒に充実したものにして欲しいと願っています。

また、古くから「1年の計は元旦にあり」と言われています。3年生は4月から新生活が始まります。2年生は最高学年になり、1年生は後輩が入ってきます。毎日を大切に過ごさないと、行事や日程に追われ、「いつの間にか、今の学年が終わってしまった!」となってしまいます。そうならないようにするためにも、今年1年をどんな年にしたいか、年の初めに一人ひとりしっかり目標を決めて、有意義な1年間が過ごせるよう、お子様とお話ししていただけたと思います。

さて、私は今年の目標を漢字一字で「挑（いどむ）」にしました。今年の干支「午」は「飛躍」「前進」の象徴と言われているので、「飛躍」「前進」しようと思えば何かに「挑戦」しなければなりません。生徒たちや先生方と共に、「豊西力」が大いに発信出来る様、新しい豊津西中学校となるべく「挑」でいきたいと考えています。始業式で、生徒たちにも問いかけてみようと思います。どんな一字を思い浮かべてくれるか楽しみです。

これから、季節は確実に春に向かっていきます。皆さんも春に木々の若芽が力強く芽吹くように、この寒い冬の間をしっかり力を蓄え、春、一気に「飛躍」「前進」出来るよう、この3学期を過ごしてください。

最後になりましたが、保護者の皆さま、地域の皆さま、新年おめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年も、「子どもたちの最善の利益」のため、教職員一同全力で教育活動に取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。

挑

12月行事報告

□全校集会



12月の全校集会は、校長講話・各学年の学級委員からの月目標の発表、男女卓球部の伝達表彰を行いました。いつも通り、チャイム前には整列完了し、落ち着いた雰囲気での集会でした。

□公開授業実施



今年度「確かな学びを育む学校創り推進校」の指定を大阪府から受け、府下に呼びかけの公開授業を9日に実施しました。生徒たちは、いつも通りの雰囲気での授業に取り組んでいました。

□校務員さんのお手伝い（奉仕作業・溝掃除）



後期生徒会の取り組みとしての奉仕作業（溝掃除）を、16日の午後ボランティアを募って、ネット内側にある筈の溝（完全に埋まっていた）の掃除をしてくれました。ご苦労様でした。

□スマホ安全教室



企業の社会貢献活動の一環として、講師として学校に来ていただき、スマホ安全教室を17日に実施しました。ペアで話し合った事を発表する時も、積極的に発表してくれていました。

□新入生制服採寸



4月に入学してくる小学生対象に、本校を会場として制服の採寸と、体操服や体育館シューズのサイズ合わせを行いました。4月の入学を教職員一同心待ちにしています。

□能勢ささゆり学園生徒会との交流



10月に、能勢町立ささゆり学園を訪問した際は、日程が合わず現地の校長先生に対応していただきましたが、今回は Web 上で生徒会同士の交流を短時間でしたが、持つことができました。